

# 研究計画書 & 論文の序論 書き方ワークショップ ～学術研究って何？～

ライティングセンターチューター


- ・ 学術研究とは？
- ・ 研究計画書・論文の序論に書くこと
- ・ ライティングセンターの紹介
- ・ 質疑応答

学術は、「研究者の知的探究心や自由な発想に基づき自主的・自律的に展開される知的創造活動（学術研究）とその所産としての知識・方法の体系」であり、人類の知的探求心を満たすとともに、それ自体が知的・文化的価値を有するものである。人文学、社会科学における人間の在り方の探究、自然科学における宇宙の存在や物質、生命の法則の理解など、幅広い分野にわたる多様な知の創造と体系化を目指す学術研究は、人間の精神生活の充実や文化の発展を実現してきた。


文部科学省 [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryo/attach/1324751.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryo/attach/1324751.htm)

一言で言えば...

## 新たなことを発見し、 体系化すること



分かっている・分かっていない  
範囲を知る



これまでに積み重ねられた  
知識や方法を知る

研究の背景(Background)

先行研究レビュー(Literature Review) ▶

## リサーチギャップ

従来の研究の中で、まだ解明されていない問題や研究が不十分な領域

研究の問い(Research Question)

方法(Methods)

学術的・社会的貢献(Contribution)

## 目的

学術的・社会的背景情報について、書き手と読み手の持つ情報量の差を埋め、読み手に研究への興味を持ってもらう

## 書くこと

- ・ 研究分野の紹介
- ・ 研究対象の紹介
- ・ 研究分野・研究対象の課題

**研究分野の紹介** 読み手が分野にどれだけ詳しいかによってどこから書き始めるか変える  
→あまり詳しくなければ社会問題等から入ると理解しやすい

Ex.) 昨今の大学では、ライティングセンターなどを利用したアカデミックライティングスキルの向上を目指している。

**研究対象の紹介** 分野から範囲を限定する

Ex.)ライティングセンターでは利用者とチューターが対話を通して文章を検討し、書き手の学術文章作成力を育むことを目的としている。利用者の要望に関する傾向が明らかになれば、ライティングセンターにおいてセッションをする際に活かすことができると考える。

**研究分野・研究対象の課題**

Ex.)利用者がどのような課題を抱えてライティングセンターを利用しているのかといった利用動向に関する研究は十分に蓄積されていない。

## 目的

先行研究で既に分かっていることと、未だに分かっていないこと(リサーチギャップ)を明らかにし、読み手に研究の必要性を訴える

## 書くこと

- ・ 同じ分野で重要な先行研究で分かっていることと分かかっていないこと
- ・ 先行研究に対する自分の研究の位置づけ  
(先行研究を発展させる(条件を変えるなど)、先行研究を批判する)

## 重要な先行研究で分かっていること・分かっていないこと

〇〇によれば～～が分かっているが、  
条件からは分析されていない。

Ex.) 〇〇によれば学部1年生の利用動機は平和レポートに関することが多いと分かっているが、まだ学部1年生以外の利用動機や、利用に至るまでの過程については分かっていない。

## 先行研究に対する本研究の位置付け

Ex.) 本研究では利用者全員を対象とし、利用動機や利用に至るまでの過程を分析する。

## 目的

自分の研究では何を明らかにするのかを示し、読み手に研究内容を理解してもらう

## 書くこと

- ・ 自分の研究の問いや仮説
- ・ 研究方法
- ・ Thesis Statement  
研究の概略を一文で示す

## 研究の問いや仮説

Ex.)利用動機として平和レポートや卒業論文、修士論文、研究計画書について悩みを持っていることが多いのではないか。また、授業の担当教員や指導教員の勧めにより、利用に至っているのではないか。

## 研究方法

Ex.)利用者に半構造化インタビューを行う。

## Thesis Statement

Ex.)ライティングセンターにおける利用動機や利用に至るまでの過程を分析する。

## 目的

研究結果が役に立つことを示し、読み手に研究の価値を伝える

## 書くこと

学術的・社会的貢献、展望

## 学術的・社会的貢献、展望

Ex.)利用者の要望や利用に至るまでの過程の分析は、ライティングセンターの利用者増加のための取り組みに活かすことができる。これは、ライティングセンターの理念である書き手の学術文章を育むことを促進させる。(教育的価値)

これまでに書いた内容を踏まえ、自分の研究を隣の人に伝えてみよう

ペアの人の研究を聞いて、  
もっと聞きたいこと、分からなかったことを聞いてみよう

研究計画書や序論を書くことで、自分の研究に**足りない部分**が分かる  
(二つには共通点も多い)

▶ 足りない部分を考えることで研究を進めることができる

背景が足りない

→自分が興味を持っている対象を  
絞っていく・焦点化していく

先行研究が足りない

→先行研究を読むことで**リサーチギャップ**が  
明確になり研究課題を設定できる  
& 自分の研究の位置づけが明確になる

方法が足りない

→先行研究の研究方法を知り、  
自分の研究方法に応用できる

学術・社会的貢献が足りない

→どのように役立つのかを考えること  
で、自分の研究の意義を他者に  
分かってもらえる

場所：中央図書館1階

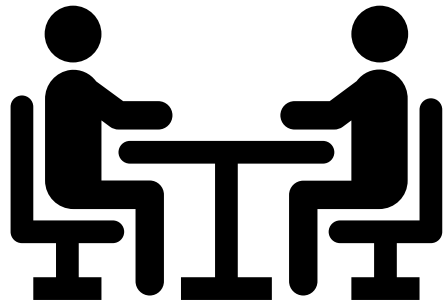
開館日（日本語・英語ライティング相談）

入口を入って左に曲がった突きあたり  
（貸出・返却カウンター横）

授業日      10:30~12:00  
              12:50~17:50

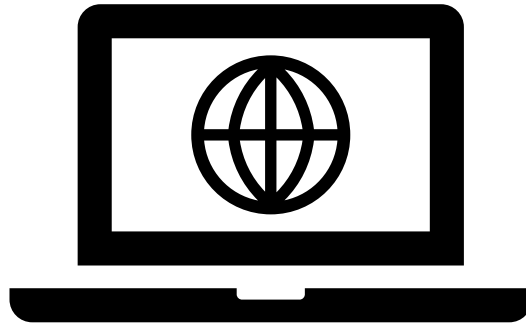


1



ライティング相談  
(対面)

2



ライティング相談  
(オンライン)

3



コメントサービス

まずは

- ・ 自分の興味のある分野の本や論文(先行研究)を読み、リサーチギャップを明確にしましょう
- ・ 困ったらライティングセンターにご相談を！

